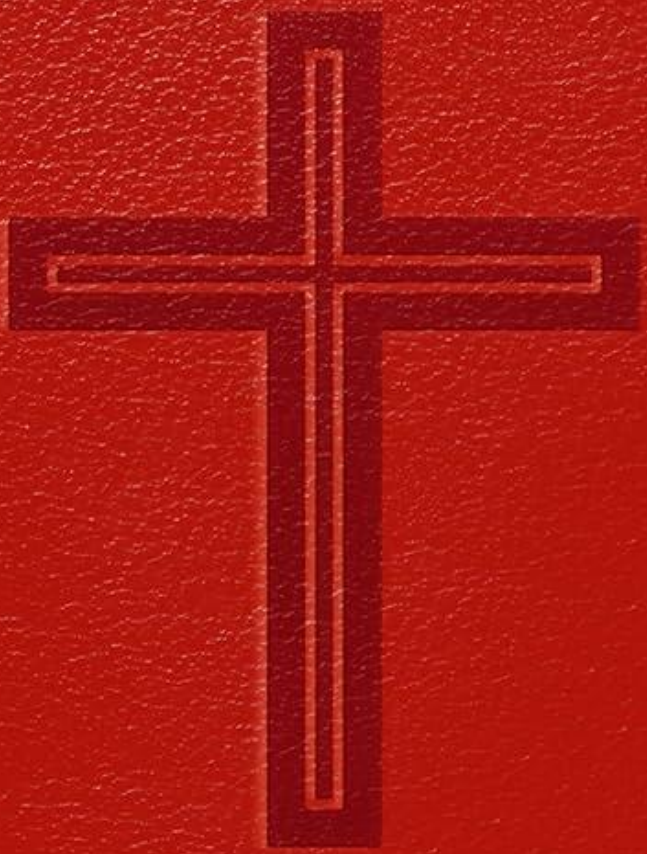
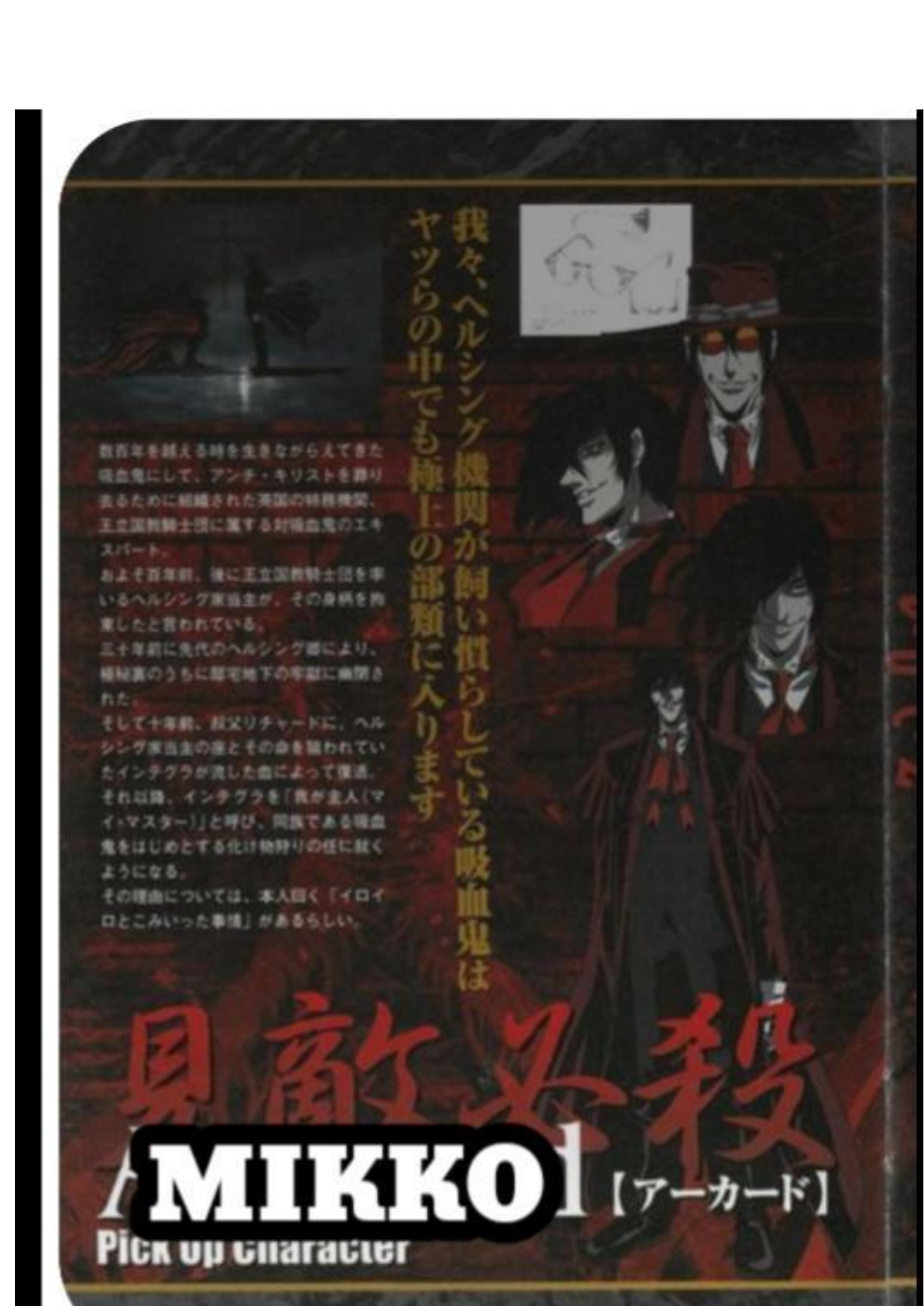
HELLSING

DELUXE EDITION



1 平野耕太

KOHTA HIRANO


我々、ヘルシング機関が飼い慣らしている吸血鬼は
ヤツらの中でも極上の部類に入ります
数百年を越える時を生きながらえてきた吸血鬼にして、アンチ・キリストを葬り去るために組織された英国の特務機関、王立国教騎士団に属する対吸血鬼のエキスパート。
およそ百年前、後に王立国教騎士団を率いるヘルシング家当主が、その身柄を拘束したと言われている。
三十年前に先代のヘルシング卿により、極秘裏のうちに屋敷地下の牢獄に幽閉された。
そして十年前、叔父リチャードに、ヘルシング家当主の座とその命を狙われていたインテグラが流した血によって復活。
それ以降、インテグラを「我が主人（マイ・マスター）」と呼び、同族である吸血鬼をはじめとする化け物狩りの任に就くようになる。
その理由については、本人曰く「イロイロとこみいった事情」があるらしい。
MIKKO
【アーカード】
Pick up Character

Sir Integral Fairbrook Wingates Hellsing

【インテグラ】

Seras Victoria

【セラス・ヴィクトリア】

Walter C. Dornez

【ウォルター・C・ドルネーズ】

The Priest of the Cheddar Village

【牧師】

Characters of HELLSING

Roger and Jessica

【ハガーとジェシカ】

Alexander Anderson

【アレクサンド・アンデルセン】

Richard Hellsing

【リチャード・ヘルシング】

王立国教騎士団、ヘルシング機関を継ぎし
うら若き処女、インテグラ……

ヘルシング家の現当主かつ王立国教騎士団、通称「ヘルシング機関」局長。また英国を影で支配する結社、円卓会議の一員でもある。

通称「インテグラ」。年齢は二十代半ばと言われているが、その詳細は不明。

魔術や宗教にも深い造詣を持ち、彼女のことを神智学を創設したメンバーの一人「ブラヴァツキー夫人の再来」と呼ぶ人もいる。

十年前、彼女から当主の座を奪おうとした叔父リチャードに襲われるが、王立国教騎士団本部にある地下の牢獄に隠されていたアーカードを復活させ、これを撃退。それ以降アーカードはインテグラを主と認め、忠誠を誓う。

王立国教騎士団の長として時には非情な判断を強いられることもあるが、常に自らの務めをまっとうできるだけの強靭な精神力を備えている。

本人曰く「正真正銘100%処女」。

見敵必殺

Pick Up Character

Sir Integral Fairbrook Wingates Hellsing

【インテグラル・ファルブルケ・ウィンゲーツ・ヘルシング】

Luke Valentine & Jan Valentine

【ヴァレンタイン兄弟】

クール部隊を率いて、ヘルシング本部を襲撃した吸血鬼コンビ。兄弟と名乗っているが実際に血縁関係にあるかどうかは定かではない。

スーツに身を包み一見紳士のような容姿なのが兄のルークで、黒髪に褐色の肌、顔にピアスを施しているのが弟のケン。

二人はアーカードやセラスたちとは違い、人工的に改造された吸血鬼で、体内に埋め込まれたチップにより、その行動や発言を背後にある組織に監視されていた。

彼らが組織から与えられた任務は「ヘルシング機関と円卓会議への攻撃」と「吸血鬼アーカードの完全破壊」。だがルークは所持していたアーカードを倒すことで、自らが吸血鬼の頂点に立つことも狙っていたようだ。

また襲撃前にルークが「――待ちに待った大仕事だ。一失敗は許されん」と語っているところをみると、組織内での彼らの立場は高いものではなかったのかもしれない。

Characters of HELLSING

Sir Hellsing

【ヘルシング卿】

アーカードの撃に倒れた歴代ヘルシング卿の一人。

その状況と発言からからおよそ百年前の初代ヘルシング卿ではないかと思われる。彼はアーカードを制圧した後、英国に連れ帰り、人外の化け物に対抗するための特務機関、王立国教騎士団を設立。一族の末裔となる歴代のヘルシング家当主がその局長の座を継ぐことになる。

Sir Islands

【アイランズ卿】

英国の重要人物が集まった組社、円卓会議の一員で、冷静沈着かつ紳士な性格の人物。ヴァレンタイン兄弟の襲撃を受けて部下がクールと化した際、動揺したインテグラに指揮官としての心がけを諭した。

王立国教騎士団との繋も深く、先代のアーサー・ヘルシング卿とは学生時代からの友人だった。そのため、後継者であるインテグラに対して後見人的な立場で接しているよ

Sir Penwood

【ペンウッド卿】

物語つきの本名はシェルビー・M・ペンウッド卿。円卓会議にその名を連ねる英国海軍中将。小心者で才覚に欠ける人物だが、その真面目な性格と地位につけこんだ王立国教騎士団に半ば強引に武器を提供させられている。

行くぞ、セラス。せいぜいうす暗がりをおっかなびっくりついてこい

王立国教騎士団、通称・ヘルシング機関に属する女吸血鬼。幼少の頃、両親が殺害される現場を目撃し、優秀な警察官だった父の跡を継ぐように自らも警察官の職に就く。チェダース村吸血鬼事件の際、警察隊として村に派遣されたが、牧師に扮した吸血鬼に襲われていたところをアーカードによって救われ、その命とひきかえに吸血鬼となった。
その後はアーカードの下僕としてヘルシング機関に入り、吸血鬼・グール（喰屍鬼）といったアンチ・キリストの化け物狩りの任をこなすようになる。ライフルや重火器を用いて、主人であるアーカードの攻撃を支援することを得意とするが、婦警時代に習得した護身術により接近戦にも長けており、ヘルシング本部がヴァレンタイン兄弟に襲撃された際には人造吸血鬼ヤンの動きを単身で封じこめてみせた。また興奮した際はグールたちを素手の一撃で葬るほど高い戦闘能力を発揮するが、彼女自身は自らが人外の存在になることにいまだ戸惑いを感じており、食事として血を飲むことを拒んでいる。そんな、吸血鬼にも人間にもなりきれないセラスだが、主人であるアーカードはそんな彼女のことをどこか楽しんでいるようだ。

Seras Victoria

Pick Up Character【セラス・ヴィクトリア】

マ、マスター……あの、か、彼ら人間です……に、人間なんですよ!

アーカードの人外の力をもって倒された警官たちの姿を見て、思わず取り乱してしまうセラス。恋人ばかりでセラスは彼らと同じ警官だった、いまや人と人外の狭間に立つ彼女は、彼らにどこか自分の姿を重ねていたのかもしれない……。

吸血鬼と化したセラスは警官の中、スコープのないライフルで見えない敵を狙撃するなど優れた射撃の才能をみせるようになる。それに対応してヘルシング機関がセラスに与えたのが20mm対化け物用銃「ハルコンネン」。弾は爆裂徹鋼徹甲弾と、なんと劣化ウラン弾を使用。

私、この先もずっと不幸にまみれる人生なのでしょうか?

親の死に目に会いすぎてしまって、仲間が化け物に襲われて自分も殺されたーと思ったらいつのまにか吸血鬼になって復活、銀髪の金と男神父さんと犬になったりする上司にこき使われると考えてみたら、かなり不幸な身の上のセラスであった。もちろんこれから先もさらなる不幸にまみれるわけですが……。

Tubalcain Alhambra

【トバルカイン・アルハンブラ】

Characters of HELLSING

Pip Bernadotte

【ピップ・ベルナドット】

ENRICO MAXWELL

【エンリコ・マクスウェル】

The Fairy of Harkonnen

【ハルコンネンの精】

なんとも素敵な宣戦布告
嬉しいね、これでまた戦争ができるぞ

人工吸血鬼から成る一個大隊「最後の大隊」指揮官。

闘争を至上の悦びとし、そのためなら目的も勝敗も問わない。アーカード曰く「救い難い戦争狂」。

ナチスの武装親衛隊に所属していた第二次世界大戦当時の階級から「少佐」、もしくは「総統代行」と呼ばれている。本名をモンティナ・マックスとする説もあるが定かではない。

党首であるアドルフ・ヒトラーを「ベルリンの伍長」と呼んでいたとも伝えられ、ナチスの思想そのものに心酔しているわけではないようだ。

第二次世界大戦時、少佐は「人工吸血鬼製造計画」を実現するため、占領地から膨大な物資と人材を集め、南米へ移送していた。これらの移送計画と、それを実行するための機関の総称が「ミレニアム」である。そしてナチスが敗れた後、少佐とその部下たちも南米に潜伏して研究を続け、作り上げた吸血鬼を「最後の大隊」の尖兵として、英国へ送り込んでいた。

見敵必殺

SS-Sturmbannführer

Pick Up Character 【少佐】

Rip van Winkle

【リップヴァーン・ウィンクル】

有象無象の区別無く
私の弾頭は許しはしないわ

Characters of HELLSING

SS-Standartenführer

【親衛隊大佐】

Bishop

【司教】

Queen

【女王】

中途半端にするなよ、食屍鬼になられても その、なんだ……困る

ドクが常に身につけている多重レンズの眼鏡

少佐率いるナチス残党「最後の大隊」で人工吸血鬼の開発に勤しむ研究者。本名、素性は不明で「博士（ドク）」もしくは「大博士（グランドプロフェッツォル）」と呼ばれている。

第二次世界大戦時より少佐のもとで人工吸血鬼製造の研究を進めていたが吸血鬼の出来損ない、食屍鬼の開発に至ったところで、王立国教騎士団（ヘルシング機関）の妨害により研究の中断を余儀なくされる。敗戦後は、逃走先の南米でアーカードに匹敵する吸血鬼を生み出すための研究を重ねていた。

エキセントリックな性格で研究のためであればどんな犠牲を払おうと厭に介しない。また少佐の思想と計画に心酔しており、それを阻害する者を激しく憎む。

Pick Up Character

Doc【ドク】

敵

SS hauptsturmführer

Pick Up Character【大尉】

そもそもヴェアヴォルフとは彼ひとりのために用いられる呼称だったのだよ

「最後の大隊」の中でも特異な存在である人狼部隊“ヴェアヴォルフ”の筆頭。

寡黙な男で、感情を表に出すこともなく、淡々と任務を遂行する。

本名、素性も一切不明。少佐の片腕的存在で、ドクと共に第二次世界大戦時から行動を共にしている。当時、ドクの研究施設がアーカードらに襲撃された際に、まだ少年だったウォルターと対決した過去を持つ。

「最後の大隊」中、最強の戦闘能力を持つといわれるが、その実態はまだ明かされていない。愛銃はモーゼルC96。

Heinkel Wolfe & Yumie

【ハインケル・ウーフー、由美江】

ローマ・カソリックの非公式特務実行部隊、ローマ教皇庁特務部第13課、通称"イスカリテ"のメンバー、神父姿アニて拳銃をあやつるハインケル・ウーフーとシスター姿の由美江。ハインケルはアンデルセンが予告の際は武装神父隊の取りまとめ役をつとめているように、二人は同じ孤児院で育てられたこともあり、コンビを組んで任務を遂行することが多くその関係は中の良い父娘といったところ。一見、大人しくもみえる由美江は鳥居流刀法の使い手でもあり、「宮司」と呼ばれる強力な技を持つ。

Characters of HELLSING

Corpo di padre armato

【武装神父隊】

ローマ教皇庁特務部第13課の武装部隊。ハインケル や由美江をはじめ、構成員の多くはアンデルセンに対して敬意と恐怖心を抱く。彼らが唱和する句のうち左手に持つ"銀貨30"はスタダキリストを裏切った時の報酬の額を、"荒縄"はその後首吊り自殺したことを示す。

The Fairy of Jackal

【ジャッカルの精】

ヘルシング機関が開発したアーカード専用の13mm拳銃"ジャッカル"に憑いている精霊。アーカードをホンラえ出しなウイルス空間に閉じ込めようとするが、突如現れたジャッカルさん(1973年版)に射殺され死亡。その後ウイルス空間は、戦争の大きんやオブシタファイルさんはかが出現する前後の玄関空間に放置される。

Young Hellsing,Penwood,Islands

【若き日の三人】

1944年のヘルシング邸、アイランズ邸、ペンウッド邸、同年、ワルシャワにおけるナチスの人工吸血鬼製造計画を察知した英国政府は、アーカードとウォルターを現地に派遣した。

さあ、さっさと死んじまえ！
人間（クズ）ども!!

巨大な鎌と、幻覚による攻撃を得意とするヴェアヴォルフ。

少佐をして"褐色の狂気"と言わしめるほど、戦争狂の揃った「最後の大隊」の中でも極めて残忍かつ好戦的な性格で、敵兵を虫けらの如く嬲り殺すことを好む。大隊での階級は中尉。

第二次あしか作戦では、少佐からツェッペリン2と中隊を授かり、先遣隊としてヘルシング本部を急襲。命令を無視し、本隊の到着を待たずして、独断で本部を死守するセラス・ヴィクトリア、ワイルド・ギースらとの戦火を切り、部下の半数以上を失った。

充分だ 奴らを 鏖(みなごろ)しにするには充分だ

ゾーリンはその右半身に刻まれた無数の呪文や魔方陣の発動により、不特定多数の相手に幻覚を投射することができる。またその幻覚を通じて、被術者の精神に介入し、強烈な心理的ダメージを与える。

【最後の大隊兵士】

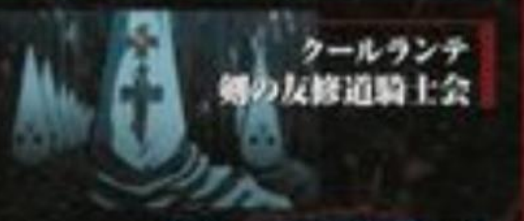
少佐率いる人工吸血鬼化された戦闘集団。図は左が最後の大隊の将官、右が降下兵の一般的な姿。彼らの多くは第二次世界大戦後、少佐と共に南米に逃れたナチス武装親衛隊(SS)残党で、闘争の愉楽のためには、その勝敗はおろか自らの生死すら問わない戦争狂である。なおSSとは国軍であるドイツ軍に対して、ナチスが有志を集めて結成した私兵で、独立した指揮系統のもとで運用されていた。

【ツェペリン2乗組員】

ヘルシング本部襲撃にあたり、ゾーリンの麾下に入った飛行船ツェペリン2の艦長と操縦士。セラスの非常識な迎撃攻撃と、ゾーリンの迷惑極まりない特攻に巻き込まれ、船体と共にその身を散らした。旧SSの最後の大隊兵士らと比較して戦意が低いことから吸血鬼化を施された旧ドイツ軍の軍人だと思われる。

The Knights of Christ

【宗教騎士団】



クールランテ
卿の友修道騎士会

カラトラバ・ラ・
ヌエバ騎士団

聖ステパノ騎士団

マルタ騎士団

Characters of HELLSING

Father with childish face

【童顔神父】

Enrico Maxwell (boyhood)

【エンリコ・マクスウェル(少年時代)】

死のうぜ、犬ども
畜生（ファック）、畜生（ファック）言いながら
金が支払われている限り決して裏切らない戦争の犬、傭兵集団"ワイルドギース"の隊長。
八代前から続く傭兵の家系に生まれたフランス人で、幼少の頃はその出自に嫌悪感を示すも、いつしか自分も同じ道を歩むことになった。
軽妙洒脱な皮肉屋だが、単身潜入による暗殺や破壊活動から、指揮官として部隊を率いての掃討戦、拠点の防衛など様々な分野の戦闘に秀でたプロフェッショナル。
アフリカ、中東など各地の紛争を転々とした後、ヤン兄弟の襲撃を受け、人員不足となったヘルシング機関の護衛の任に就いた。
苦手な食べ物はフィッシュアンドチップスで、趣味はセラスへのセクシャル・ハラスメント。
GOOD FOR YOU
目前必殺
Pick Up Character
Pip Bernadotte
【ピップ・ベルナドット】

WILD GEESE

【ワイルドギース】

ベルナドット率いる傭兵集団。隊長の前歴か、危機的状況でも粘り強く冗談を忘れない連中が集まっており、一部隊としての戦闘力は極めて高い。厳しい北の戦場となる戦いでも生還することが多いことから、隊員たちはベルナドットに厚い信頼を寄せている。一部がそうな戦場の猛者たちだが、ひとまわ異色なのがゾーリン襲撃の際に取り乱した傭兵の風上にも置けない卑怯のダメ傭兵。口は立つが腕は恐らく…などとか憎めない通称"ヘタレ"。

Characters of HELLSING

Grand-pere de Pip Bernadotte

【ベルナドットの祖父】

幼きベルナドットに父の死の真相と、代々ベルナドット家が傭兵稼業に励んでることを明かした祖父。自身を含めて"二束三文で命をやり取りする人間のクズ"と家系を自ら口汚には、その言葉とは裏腹にどこか誇らしげな自慢心がにじんでいた。

Mother of Seras Victoria

【セラスの母親】

セラスの母親。良き警察官の夫と、娘のセラスに囲まれ、幸福な日々を送っていたが、夫の仕事を逆恨みしたチンピラの銃撃に巻き込まれ、銃で撃たれて死亡。その惨劇を目の当たりにしたセラスは、心に大きな傷を残した。

法皇庁特務局第13課に所属する神父。「聖堂騎士」「天使の塵」などの異名をとり、ローマ・カトリックの教えを唯一無二の真理とし「我が神に逆らう愚者をその肉の最後の一片までも絶滅すること」を自らの使命に掲げている。
しかしその一方で、アーカードやインテグラといった敵であっても自らの正義を貫こうとする者には歪んだ敬意を払う節がある。
その肉体には法皇庁が有する対化物法術の粋が施されており、アーカードをして"再生者"と称させるほどの自己再生能力が備わっている。また戦闘力は重装歩兵二個小隊を優に越えるといわれており、アーカード同様、彼もまた対化物戦の切り札である。
その能力の高さと信仰心の厚さから非公式部隊である第13課の中でも、極秘とされる単独での作戦行動が多く、隊長を務める武装神父隊の指揮は愛弟子のひとりハインケル・ウーフーに任せがち。

Pick Up Character

Alexander Anderson

【アレクサンド・アンデルセン】

法皇庁特務局第13課局長。法皇庁内での自分の立場を確立させるため、"教義のためなら教祖をも殺す"と公言し、鬼子扱いだった第13課の任務に積極的に取り組んでいった。
しかし、それらは信仰心からの献身ではなく、幼少時に親に捨てられて感じた深い孤独と劣等感、その裏返しから来る権力への渇望によるものだった。
生涯最大で最後の任務となった第9次十字軍では手中にした大司教としての力に酔いしれ、無謀な指揮をとり戦線を崩壊させた。その時点でマクスウェルの本性を見抜いたアンデルセンの友として育ての親としての処罰が下され"死の河"に飲み込まれる。

マクスウェルが育ての親を殺した時にはハインケル・ウーフーと出来ごとを受けられており、後に13課の実行部隊の主要メンバーとなる三人は、アンデルセンの下で共に成長していった。

Pick Up Character

Enrico Maxwell

【エンリコ・マクスウェル】

Keywords of HELLSING

※この用語解説はあくまで「HELLSING」本編中での用語解説であり、実在する組織や史実の正確な解説ではありません。

【ガーゴイル】

西洋の建物に見られる怪物を模した装飾、およびその怪物の総称。
本来は"屋根の水を流す"という意味で使われていた言葉だが"毒をもって毒を制す"の考えから魔除けの一環として雨水の排出口に怪物を象った像を作ったのが広まり、現在の怪物の名前を示すようになった。

【天使】

ユダヤ・キリスト教において天使は、神と人間の間にある存在であり、それぞれの使いとして両者を仲介する役割を担っているとされている。
旧約聖書の前半などに天使に関する記述が少ないことから、聖書成立の初期の段階ではその存在は軽視されていたと思われるが、バビロニア捕囚以降、主にヒト記、エノク書といった外典、偽典をはじめ黙示録をあつかった文で、その姿形や性格、地位など様々な設定が付け加えられていった。
また絵画などでは翼を持った少女や青年、赤ん坊の姿で描かれることが多いが、実際には聖書の中に天使の姿に関する具体的な表現は少なく(旧約聖書ではごく普通の人間の姿で登場することが多い)、こうしたイメージが普及したのはルネッサンス期の宗教画の影響が大きい。

【イェニチェリ】

オスマン帝国における君主直属の常備歩兵集団。
14世紀後半に戦争捕虜となったキリスト教徒を改宗させて創設した部隊が始まりといわれている。その後、兵力を安定供給するためキリスト教徒の子供の中から優秀な者だけを改宗させて、強制徴用する"デヴシルメ制"が設けられ、当時最新装備であった銃を積極的に導入するなど、オスマントルコ軍の中枢を担う集団となっていった。
"戦鍋旗"とは、君主と共に食事をとる特権を与えられていたイェニチェリが旗印代わりに掲げていた鍋のこと。
17世紀以降、人員・権力を増大させ、その軍事力を背景に政治にも干渉するようになったイェニチェリは、たびたび反旗をひるがえし、帝国の弱体化の一因となった。
そして1826年、彼らを疎ましく思った君主マフムト2世が創設した西洋式軍隊・ムハンマド常勝軍との戦いに敗れ、イェニチェリは廃止された。

【ワラキア公国軍】

後に吸血鬼ドラキュラのモデルとなるワラキア公ヴラド3世が創設した公直轄の軍隊。
当時領内では少数の貴族たちが実権を握っていたが、1495年に二度目のワラキア公の地位に立ったヴラド3世は彼らを粛清し、徹底的な中央集権化を進めた。その一環が公直轄軍の創設である。
本来ワラキアのような小国では財政面の問題から、非常時のみ農民を兵に武装させるか、傭兵を招き入れるのが主流であった。だがオスマントルコ勢力とキリスト教勢力の間に位置し、常に両者の力関係の犠牲となってきたワラキアの領土を維持するため、練度と忠誠心を高めた常備軍を創設する道を選んだのである。
事実、この公直軽軍は目覚しい活躍を見せ、メフメト2世率いるオスマントルコ軍のワラキア領への侵攻を何度も撃退し、1462年の夜襲の際には、当時最強と謳われていたイェニチェリと互角に戦い、メフメト2世を暗殺する一歩手前までいったといわれている。

【聖遺物】

イエス・キリストをはじめ、聖人に認定された人物の遺骸や遺品を指す。
故人への敬意から人知をこえた力が宿る信仰の対象として崇められることが多く、高値で売り者が後を絶たないため、真贋問わず数多くの品が世界中で確認されている。
中でもキリストの聖遺物は有名で、ルイ9世やアドルフ・ヒトラーといった権力者たちも、それらの入手を企てたといわれている。

【聖骸布】

聖遺物のひとつで、イエス・キリストの遺体を包んだとされる布。聖骸布と称されていたものは、かつて複数確認されているが、現存しているのは聖ヨハネ大聖堂に保管されている"トリノの聖骸布"のみ。

【聖杯】

聖遺物のひとつで、最後の晩餐の際にイエス・キリストと弟子たちが使用したとされている杯。メトロポリタン美術館をはじめ複数の施所で保管されているが、その真偽は不明。
磔にされたイエス・キリストの血を受けた杯とするのは後世に作られた創作とされている。

【千人長の槍】

聖遺物のひとつで、十字架に磔にされたイエス・キリストのわき腹を刺したとされる槍。槍を刺したと思しきローマ兵の名からロンギヌスの槍とも呼ばれている。
"所持する者は世界を支配できる"との伝承もあり、一説にはナチスもその存在を探し回ったといわれているが、調査に値すると思われる物はいまだ確認されていない。

【エレナの聖釘】

聖遺物のひとつで、イエス・キリストが磔にされた際、手足に打ちつけられたとされている釘。

誰も私の邪魔はできない
誰にも私の反逆の邪魔はさせん
先代よりヘルシング家に仕える執事かつ王立国教騎士団のメンバー。
かつてはアーカード同様「ゴミ処理係」として、化物退治の任に就いていた。特製の鋼鉄糸を自在に操り相手を斬殺していくその術は、アーカードも一目おくほどで「死神ウォルター」との異名を持つ。
アーサー、インテグラとヘルシング家当主への忠誠心は厚いが、アーカードとの戦いを渇望するあまり、最後の大舞と影で通じ、第二次あしか作戦の最中にドクの手を借りて人工吸血鬼と化した。ドク曰く「かなり無茶な施術」で全盛期の体を取り戻したため、その維持に精神的にも体力的にも激しい消耗が強いられている。
男敵必殺
Pick Up Character
Walter C. Dornez
【ウォルター・C・ドルネーズ】

老いすら楽しむものさ
我々英国人は
1999年の時点での実年齢での姿。対化物連合の最前線からは身を引き、インテグラの補佐や、主にアーカードやセラスの使用する特殊重火器の整備を担当している。
我が名は死神
これより世界の敵を
根絶やしに参る
第二次大戦中、先代ヘルシング卿の命でアーカードと共にナチス占領下のワルシャワへ潜入した時の姿。かの地で人工吸血鬼製造計画を続けていた少佐らと対面したことが、後に王立国教騎士団を離反するきっかけとなった。

Characters of HELLSING

Earl

【伯爵】

死の淵とともに出現した謎のアーカード、通称、伯爵。そして理不尽な虐げを受けた幼少時を経て、神の降臨と米国を含める巨大として戦いに明け暮れた、部下や領民をも巻き込んだ、その戦いに敗れ、すべてを失いながらも、まだ諦観を享受できなかった男は、転落の刑に処される間際、人間としての一線を越える。

Luke Valentine

【ルーク・ヴァレンタイン】

白スーツでひっそりとデビューし、吸血鬼界の下克上をアーカードに挑んだものの、ザコキャラの宿命として、マジになった主役の前ではあっけなくやられてしまった黒衣様のエサ、すとか足を思いっクチャクチャに食べられちゃったけど、勝負者も使えないし、まもアルはとかわいくなかったので、国民的漫画の主人公になることもなく、カーロス戦後のジョースターさんと、作中漫画のあとがきなどのかヤ訳ABの扱いに、それでも数年にわたる下積みが認められて、今回黒衣の中のマリオネットとして再登場。なんと少佐とタクの会話から連載であることが判明、ちなみにヴァレンタインデーの元になったヴァレンタインさんは3世紀頃に伝承が伝えられるキリスト教の聖人。「ローマ帝国で禁止されていた兵士の結婚を執り行い、皇帝の逆鱗に触れて処刑された」とか伝承されている悲劇の恋の神父人だったそうな。

Robert Walsh

【ロブ・ウォルシュ】

円卓会議参議兼、英国陸軍中将、女王らの警護を担当しており第二次あしか作戦時には、SAS分遣隊と共に地下施設本営の守備と、首党時の脱出経路の確保に務めた。

Hirano Kouta

【平野耕太】

この世界の創造主で、チンコいじりとやがらせを趣味とする足立区在住の漫画家。独特タロな仁義なき作風で知られ、制服用インクは一般市販品して使う派。

Yamamori Yoshio

【山守義雄】

この作品の主人公で、金と権力とおっぱいをこよなく愛する政治結社、天政会初代会長。全盛期は警察文太と仁義なき戦いを、引退後は孫たちとの楽しいセラハラバトルを繰り広げる。

Keywords of HELLSING

※この用語解説はあくまで「HELLSING」本編中での用語解説であり、実在する組織や史実の正確な解説ではありません。

【ブリップ】

「第七小隊、ブリップ消滅、応信途絶!」と冒頭で通信兵が叫んでいるが、ブリップとは細長い棒状のおいしいお菓子ではない。レーダーに反応した機影などが残像で残る点のことだ、転じて存在反応を示す点ということかも知れないが、軍人ではないのでよくわからない。

【ホルスト・ヴェセルのリート】

数あるナチス党、党歌の中でも有名な一曲、突撃隊員であった党員、ホルスト・ヴェセルが機関誌に投稿した詩が元になっている、曲は当時歌い親しまれていた曲で作者はペーター・コルネリウスといわれているが正確にはわかっていない、今、現在はどうだかわからないが、この歌は戦後、ドイツでは公共の場での歌唱が禁じられている、またしてもドイツでの発売にハードルが上がった気がする。ちなみにホルスト・ヴェセルさんは共産党員に愛人といるところに突撃されて1ヶ月、生死を彷徨い2月23日に亡くなられたそうですよ、合唱、いや合掌。

【523年前】

アーカードがアンデルセンに語る"523年前"とは「HELLSING」の作中時間(1999年)から逆算して1476年にあたる、この年はブラム・ストーカーの小説「ドラキュラ」のモデルとして知られるヴラド3世が死亡した年である、ヴラド3世とはあのアルセーヌ・ヴラドの三代目などではなく強国オスマン・トルコとワラキアの自治を賭けての激闘を重ねた15世紀のワラキアの領主、幼少時の数年を人質としてオスマン帝国領で過ごした後、父と長兄の死を契機に凱旋、領内の大貴族たちを次々と粛清し、権力の中央集権化を進めると、それまで続いていたオスマン・トルコへの献納を拒否し、交戦状態に突入、公国軍を率いてゲリラ戦を展開し戦果をあげた、1476年、オスマン勢との戦闘中に死亡したと伝えられているが、その遺体の行方は不明、その戦果を讃えたキリスト教圏の他国が、ヴラドをより残虐非道な人物に描いた文献を流布していたため、当時から世間の評価はやや"ヒール"ぶりだったという、よくいわれるヴラド・ツェペシュは、串刺し公ヴラドの意で、強引な要求をつきつけるオスマン・トルコの使者を生きたまま串刺しにしたことでつけられたニックネーム、実は中世、敵への串刺し刑自体はそんなに珍しいものではなかったが、ヴラドさんはよっぽど串がお好きだったのか、自国の臣下や領民にもこれを実施、その後、さらにエスカレートしてお城いっぱいに串刺しの森を作ったりもしたため、500年以上続くニックネームになりました、めでたしめでたし。
ちなみにヴラドは"ドラクラ""ドラクリア"と署名することも多かったが、父であるヴラド2世が竜騎士団の騎士で"竜公"と呼ばれていたため"竜=ドラクル"に"子"を意味する接尾語"ア"をつけたものである。

僕はどこにでもいるし
どこにもいない——

猫耳に手ズボンのヴェアヴォルフ。"最後の大隊"幹部のひとりで、階級は准将。
シリーズ中、最多死亡回数を記録した少年兵。とはいっても認識次第で自身を実在と虚無、生と死など相反する状態に定着することができる"矛盾した命"の性質の持ち主で、少佐曰く、自己観測する「シュレディンガーの猫」。対アーカード戦の最終兵器として温存されていた。性格は天真爛漫。敵味方のわけなく無邪気に接するが、猫耳であるがゆえに、根が強な大尉は苦手そう。最後の大隊の中で、少佐に対して馴れ馴れしい口調で話しかけることが黙認されている唯一の存在。ゾーリンの死を報告した後、少佐について「非道い人だ、あなたは」と語る彼の言葉からは、稚気あふれたその外見とは裏腹な冷静で達観した姿勢がにじみ出ていた。

男敵必滅

Pick Up Character

Schrödinger

【シュレディンガー】

Makube
【間久部】

2030年時のローマ教皇庁特務局第13課機関長。教皇庁の繁栄を信条とする狂信者で、目的達成のためなら時間を惜しまぬ忍耐強さと執念深さを併せ持つ。ヘルシング機関の長であるインテグラと通信交流するなど、大英帝国とは一見対話路線をとっているように見えるが、内心ではいまなお侵略の野心が燃え盛っている。

我々は500年待った
次の第十次はうまくやるさ

MIKKO
【アーカード(婦女)】

実幻自在なアーカード形態のひとつ。1944年、ウォルターと共に少佐の人工吸血鬼製造研究所を急襲した際に、「はんの余興」として変化したのが「たぶん」はじまり。今回、蘇ったウォルターの前にこの姿で現れたのは唯一次の「変角」なのだろう。

"最後の大隊"が保持していた研究素体。その正体はかつてアーカードによって吸血鬼化した女性ミナ・ハーカーの遺体。100年前、一度は人間に葬り埋葬されたものの、人工吸血鬼製造を目指した少佐たちが、その体内に残された"吸血鬼の血"目当てに発掘、半世紀にわたりその身を切り刻んで研究しつくした。

THE SHI【彼女】 唯一の存在、すべての始まり